



株式会社セブン&アイ・ホールディングス
2012年2月期 第1四半期決算説明会

2011年7月7日
株式会社セブン&アイ・ホールディングス

12/2期 第1四半期実績

連結決算概要

震災後の早期復旧により、利益は計画を上回って推移

	12/2期 第1四半期			主な特殊要因
	金額	前期比	前期増減	
営業収益	11,223億円	90.1%	▲1,234億円	・SEI会計基準変更 :▲1,184億円 ・円高影響:約▲240億円
[右記特殊除く]	[12,647億円]	[101.5%]	[+189億円]	
営業利益	682億円	130.1%	+157億円	—
四半期純利益	131億円	53.9%	▲111億円	特別損失 ・災害損失:181億円 ・資産除去債務:225億円
[右記特別損失除く]	[392億円]	[161.4%]	[+149億円]	

事業セグメント別営業利益

増益の大きな要因は、震災当初に被害の大きかったスーパーとCVSの早期回復

	12/2期 第1四半期			増減の主な要因
	金額	前期比	前期増減	
コンビニエンスストア	448億円	110.6%	+42億円	国内:好調な既存店売上:+7.0%
スーパーストア	144億円	318.8%	+99億円	4月以降の売上回復と荒利率の改善
百貨店	12億円	880.9%	+10億円	4月以降の売上回復
フードサービス	▲0億円	—	+0億円	—
金融関連	74億円	97.8%	▲1億円	—
その他	6億円	—	+8億円	—

特別損失：主要会社の資産除去債務

資産除去債務は概ね当初見込み通り（四半期純利益への影響は約▲143億円）

	期首 見込み	第1四半期 実績	差異
セブン-イレブン・ジャパン	約105億円	105億円	±0億円
イトーヨーカ堂	約90億円	85億円	▲5億円
セブン&アイ・フードシステムズ	約20億円	20億円	±0億円
その他	約25億円	14億円	▲11億円
合計	240億円	225億円	▲15億円

特別損失：主要会社別の災害損失

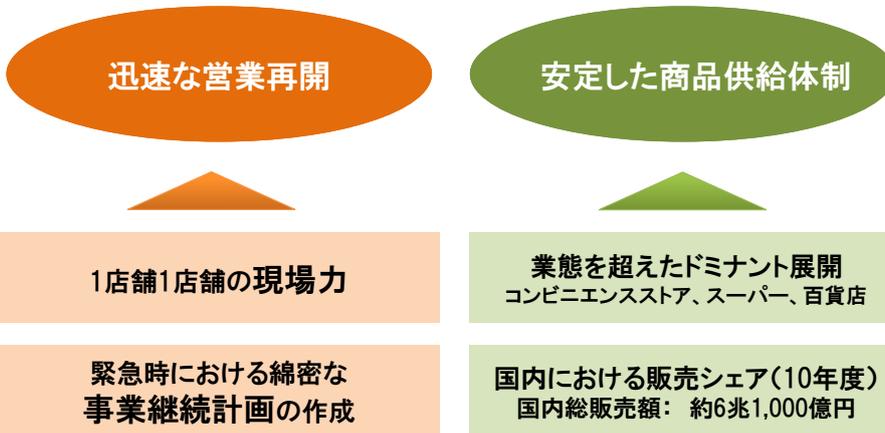
休業・計画停電等で営業できなかった日及び時間帯の固定費は41億円

	期首 見込み	第1四半期 実績	〔うち営業休止 期間中の 固定費〕
セブン-イレブン・ジャパン	60億円	9億円	[0.5億円]
イトーヨーカ堂	36億円	25億円	[8億円]
ヨークベニマル	150億円	99億円	[13億円]
そごう・西武	14億円	17億円	[12億円]
その他		31億円	[7億円]
合計	260億円	181億円	[41億円]

通期の災害損失は230億円を見込む(7/7時点)

震災後の早期復旧のポイント

グループ各社の情報、インフラを共有することで早期復旧を実現



コンビニエンスストア事業の概況



セブン-イレブン・ジャパン

営業体制の早期復旧により、震災後の需要増加を取り込み増益

	12/2期 第1四半期
営業利益	437億円 前比112.0% +46億円
既存店売上高伸び率	+7.0%
商品荒利率	30.2%(前比▲0.6%)

概況

- 既存店売上は、商品供給体制の早期復旧により好調に推移
- タバコの売上伸長による影響
既存店売上高伸び率：+5.4%
商品荒利率：▲0.9%



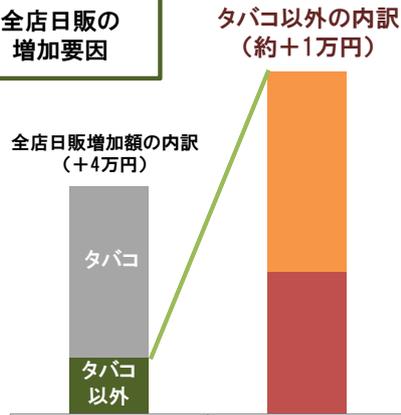
コンビニエンスストア事業の概況



セブンイレブン・ジャパン

デイリー品の改善継続に加え、震災後の新たな需要への対応により好調維持

全店日販の増加要因



デイリー食品

- 麺類 販促・品揃え強化
- デリカテッセン 近くて便利
- フライヤー 販促、近くて便利
- デザート PB商品が牽引

加工食品

- ソフトドリンク グループ調達力
- カップラーメン グループ調達力

スーパーストア事業の概況



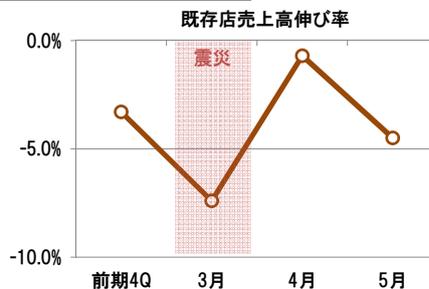
イトーヨーカ堂

販促政策の見直しにより売上は弱いものの、荒利率の改善に伴う収益性の向上により増益

	12/2期 第1四半期
営業利益	54億円 前比467.1% +42億円
既存店売上高伸び率	▲4.4%
商品荒利率	30.3%(前比+1.6%)

概況

- 販促政策や価格政策の見直しにより、売上高は弱含みで推移
- 荒利率は価格政策の見直しと一部商品における特売縮小で大幅に改善
- 価格訴求型販売促進の抑制による売上値引きの抑制
- 販管費は、新店で67億円増加したものの、既存店と閉店により71億円削減(前期差▲3億円)

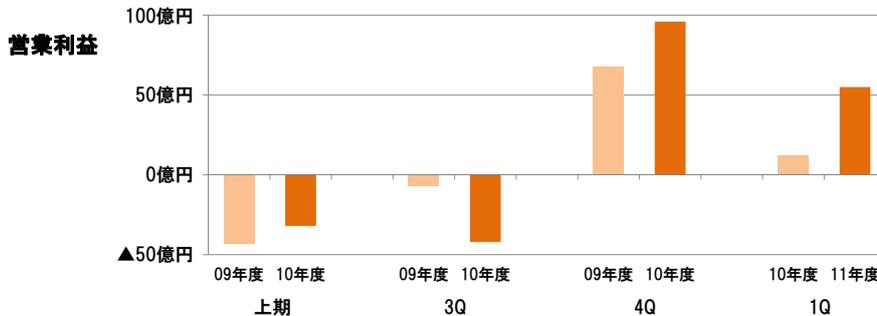


スーパーストア事業の概況



イトーヨーカ堂

前年4Qより販促・価格政策を大幅に見直し⇒1Qも継続して実行することで収益性が改善



	10年度上期	10年度3Q	10年度4Q	11年度1Q
既存店売上高伸び率	▲2.5%	▲1.5%	▲3.3%	▲4.4%
商品荒利率(増減)	▲0.1%	+0.2%	+0.2%	+1.6%
販管費(増減)	▲81億円	+16億円	▲16億円	▲3億円

スーパーストア事業の概況



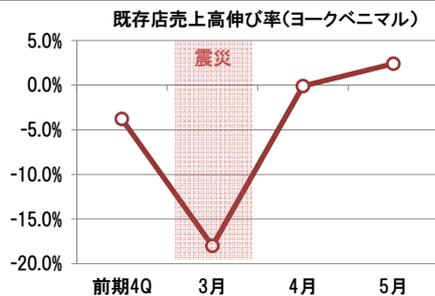
食品スーパー

YBIにおける早期営業再開とグループの調達力を活かした安定的な商品供給体制により増益

	ヨークベニマル(YB)	ヨークマート(YMT)
営業利益	54億円 前比314.1% +36億円	15億円 前比259.6% +9億円
既存店売上高伸び率	▲4.6%	+5.2%
商品荒利率	28.4%(前比+2.7%)	30.0%(前比+1.5%)

概況

- YBIは、震災直後は店舗休業などもあり、売上は大幅に落ち込むものの、早急な営業体制の復旧により売上は大幅に回復
- YMTは、グループの調達力を活かした安定的な商品供給を実践し、首都圏の食品スーパーとして震災後の需要増加を取り込む
- 荒利率は価格政策の見直しと一部商品における特売縮小で大幅に改善



百貨店事業の概況



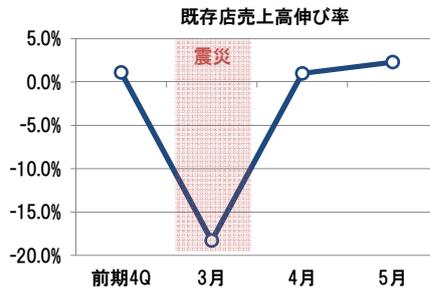
そごう・西武

3月は震災後の計画停電の影響などで売上は厳しかったものの、4月以降の急回復により増益

	12/2期 第1四半期
営業利益	10億円 前比537.1% +8億円
既存店売上高伸び率	▲5.6%
商品荒利率	25.5%(前比▲0.6%)

概況

- 計画停電などによる営業時間の短縮により、3月の売上は非常に厳しかったものの、通常営業体制になった4月以降は大幅に回復
- メンバーズ制度の変更(4月)による利便性の向上
- 人件費と店舗費を中心に販管費を削減(▲50億円)
- 4月以降の売上伸長は、昨年9月に全館リニューアルオープンした池袋本店の牽引が寄与

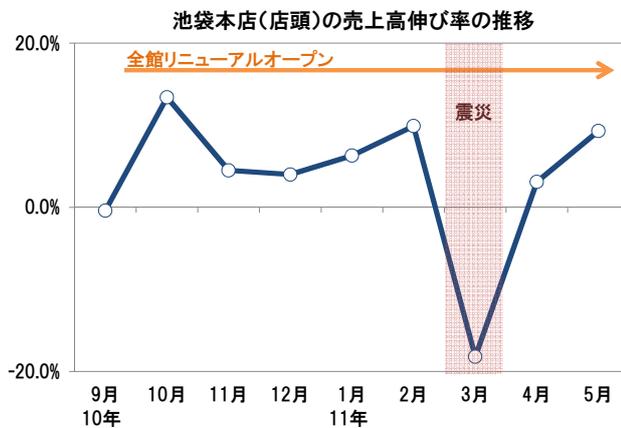


百貨店事業の概況



そごう・西武

最大の基幹店舗である池袋本店は、昨年9月の全館リニューアルオープン後は好調に推移



5月の状況

- 震災前以上の水準に回復
- 全カテゴリーでプラス
- 特に改装効果の高いインテリアと食品が高伸長

12/2期 業績予想

連結業績予想

1Qの実績を踏まえ、上期及び通期の業績を上方修正

	12/2期 前回計画		12/2期 修正計画		
	金額	前期比	金額	前期比	修正額
営業収益	46,000億円	89.8%	46,800億円	91.4%	+800億円
営業利益	2,480億円	101.9%	2,740億円	112.6%	+260億円
当期純利益	875億円	78.2%	1,050億円	93.8%	+175億円

* 前回計画：4月7日公表

連結業績予想：事業セグメント別営業利益

1Qの実績から各セグメントを上方修正

	12/2期 前回計画		12/2期 修正計画		
	金額	前期比	金額	前期比	修正額
コンビニエンスストア	2,028億円	103.7%	2,050億円	104.9%	+22億円
スーパーストア	120億円	76.4%	300億円	191.0%	+180億円
百貨店	42億円	74.7%	60億円	106.7%	+18億円
フードサービス	0億円	—	8億円	—	+8億円
金融関連	270億円	95.3%	300億円	105.8%	+30億円
その他	25億円	—	25億円	—	—

* 前回計画：4月7日公表

コンビニエンスストア事業の概況 — 営業利益 —

【今年度の主な行為】

国内：新ブランディング戦略と新型什器導入によるデイリー品の更なる強化
北米：ホットフードとPB商品の強化及び出店加速と集中改装の実行

主要各社の状況

セブン-イレブン・ジャパン

	12/2期 前回計画	12/2期 修正計画	修正額
営業利益	1,730億円(前比102.3%)	1,780億円(前比105.2%)	+50億円
既存店売上高伸び率	+2.2%	+4.4%	+2.2%
商品荒利率	30.5%(前比±0.0%)	30.0%(前比▲0.5%)	▲0.5%

7-Eleven, Inc.

	11/12期 前回計画	11/12期 修正計画	修正額
営業利益	310億円(前比93.0%)	300億円(前比90.0%)	▲10億円
既存店売上高伸び率	+3.8%	+1.2%	▲2.6%
商品荒利率	35.4%(前比+0.3%)	34.7%(前比▲0.4%)	▲0.7%

* 前回計画：4月7日公表

スーパーストア事業の概況 - 営業利益 -

【今年度の主な行為】

IY：前年4Q以降の価格政策及び販促政策を継続

YB：地域の復興における顧客ニーズへの対応を強化

主要各社の状況

イトーヨーカ堂

	12/2期 前回計画	12/2期 修正計画	修正額
営業利益	60億円(前比278.3%)	120億円(前比556.6%)	+60億円
既存店売上高伸び率	▲4.5%	▲2.9%	+1.6%
商品荒利率	29.2%(前比+0.1%)	29.7%(前比+0.6%)	+0.5%

ヨークベニマル

	12/2期 前回計画	12/2期 修正計画	修正額
営業利益	10億円(前比11.3%)	100億円(前比112.6%)	+90億円
既存店売上高伸び率	▲9.9%	▲3.1%	+6.8%
商品荒利率	26.9%(前比+0.3%)	27.4%(前比+0.8%)	+0.5%

* 前回計画：4月7日公表

百貨店事業の概況 - 営業利益 -

【今年度の主な行為】

池袋本店のリニューアル効果を他の基幹店舗へ拡大

主要各社の状況

そごう・西武

	12/2期 前回計画	12/2期 修正計画	修正額
営業利益	62億円(前比83.9%)	80億円(前比108.3%)	+18億円
既存店売上高伸び率	▲2.7%	▲1.3%	+1.4%
商品荒利率	25.3%(前比▲0.1%)	25.0%(前比▲0.4%)	▲0.3%

* 前回計画：4月7日公表

本資料には、当社の本資料発表日時点における計画、見通し、経営戦略および経営方針に基づいた「将来予測に関する記載」が含まれております。この「将来予測に関する記載」には発表日時点までに入手可能な情報に基づいた経営判断や前提が述べられております。そのため諸与件の変化により、実際の業績は「将来予測に関する記載」とは異なる結果となる可能性があります。従って本資料における業績予想などの「将来予測に関する記載」が将来に亘って正確であることを保証するものではないことを、ご了解いただきますようお願い致します。